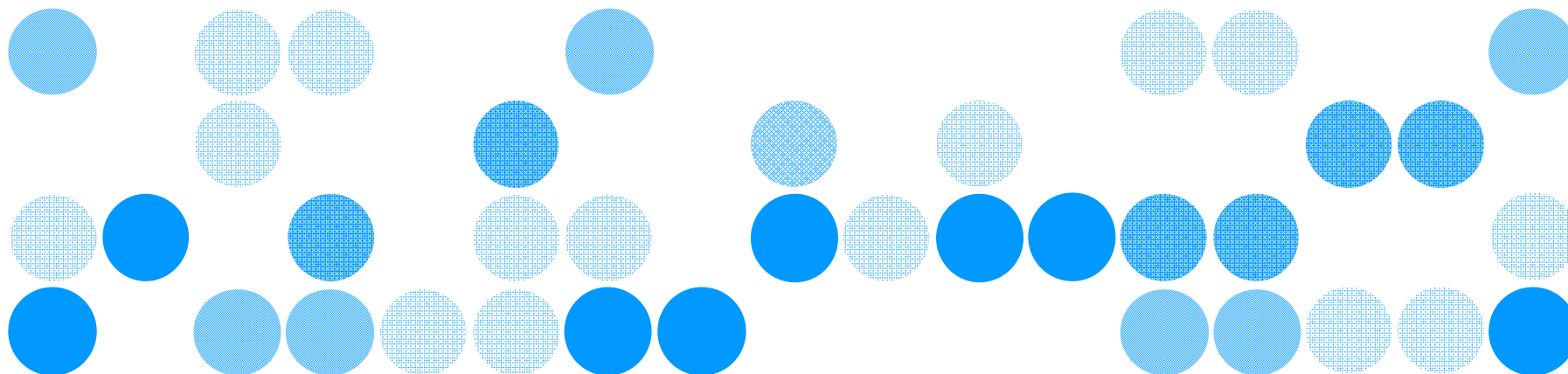

OMRON

Sensing tomorrow™

**平成23年(2011年)3月期
第2四半期決算
投資家様向け説明会**



2010年10月28日

オムロン株式会社

エグゼクティブ・サマリー	P.3
2011年3月期第2四半期決算報告	P.5
2011年3月期見通し	P.28
ご参考資料	P.34

<注意事項>

1. 当社の連結決算は米国会計基準を採用しています。
2. 業績見通し等は、当社が現時点で入手可能な情報と、合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等はさまざまな要因により、これら見通しとは大きく異なることがあります。実際の業績等に影響と与える重要な要因には、(i)当社の事業領域を取り巻く日本および海外の経済情勢、(ii)当社製品・サービスに対する需要動向、(iii)新技術開発・新商品開発における当社グループの能力、(iv)資金調達環境の大幅な変動、(v)他社との提携・協力関係、(vi)為替・株式市場の動向などがあります。なお、業績に影響を与える要因はこれらに限定されるものではありません。

2011年3月期 第2四半期 決算とポイント

- 売上高は、ほぼ前回見通し(7月28日)通りで推移。景気回復を受けて前年同期を大きく上回る。
- 利益は、固定費の効率的な運営などにより前回見通しを上回る

(連結業績)	2011年3月期 2Q累計実績	2010年3月期 2Q累計実績	前年同期比	2010年3月期2Q累計 (前回見通し)	前回見通し比
売上高	2,979億円	2,324億円	+28.2%	3,000億円	△0.7%
営業利益	244億円	△77億円	—	220億円	+11.1%
税前利益	235億円	△96億円	—	210億円	+12.0%
四半期純利益 (当社株主に帰属する)	150億円	△69億円	—	135億円	+11.0%

※第2四半期累計の為替レート実績 USD・・・88.7円、EUR・・・114.6円 (前年同期実績 USD・・・95.1円、EUR・・・132.1円)

2011年3月期 通期業績見通しとポイント

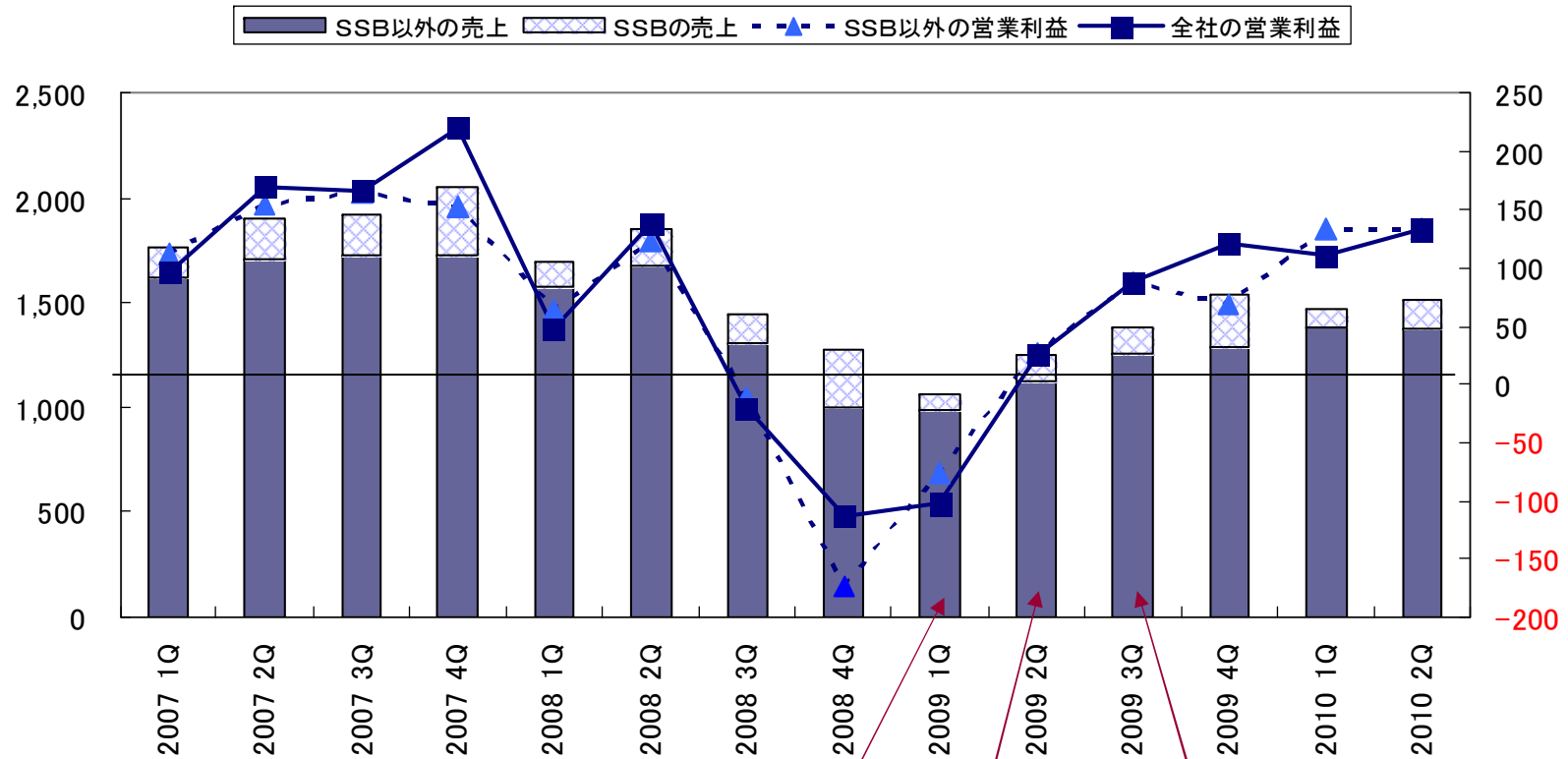
- 第3四半期以降の、為替・原材料高騰などを想定し、通期の業績は前回見通し通りとする

(連結業績)	2011年3月期 通期見通し	2010年3月期実績	前年同期比
売上高	6,150億円	5,247億円	+17.2%
営業利益	460億円	131億円	+251.8%
税前利益	445億円	102億円	+336.5%
当期純利益 (当社株主に帰属する)	295億円	35億円	+738.5%

※第3四半期以降の為替レート前提 USD・・・82円、EUR・・・113円 (2010年7月28日時点見通し USD・・・85円、EUR・・・110円)

売上高

(億円)
営業利益



電子部品
事業回復

車載事業
回復

国内FA事業
回復

※FY2007の数値は、組替による変更を行っていません

エグゼクティブ・サマリー	P.3
2011年3月期第2四半期決算報告	P.5
2011年3月期見通し	P.28
ご参考資料	P.34

連結損益計算書

- 売上高は、ほぼ前回見通し通りで推移。景気回復を受けて前年同期を大きく上回る。
- 利益は、固定費の効率的な運営などにより前回見通しを上回る

(億円)

全社PL	2011/3期 2Q累計実績	2010/3期 2Q累計実績	前回見通し (2010年7月28日)	前年同期比	前回 見通し比
売上高	2,979	2,324	3,000	+28.2%	△0.7%
売上総利益	1,129	756	1,130	+49.3%	△0.1%
販管費	693	657	715	+5.4%	△3.1%
R&D費	192	176	195	+9.1%	△1.7%
営業利益	244	△77	220	—	+11.1%
営業外費用	9	19	10	△52.0%	△7.3%
税引前当期純利益	235	△96	210	—	+12.0%
当期純利益	150	△69	135	—	+11.0%
				前年同期差	前回見通し差
USDレート (円)	88.7	95.1	88.7	△6.4	+0.0
EURレート (円)	114.6	132.1	113.9	△17.5	+0.7

連結売上高明細(セグメント別)

- 各セグメントとも、ほぼ前回見通し通りに推移
- 前年同期比では、主力の制御3事業(IAB・EMC・AEC)で大幅に回復

(億円)

セグメント別	2011/3期 2Q累計実績	2010/3期 2Q累計実績	前回見通し (2010年7月28日)	前年同期比	前回 見通し比
工場自動化用制御機器事業 (IAB)	1,387	909	1,385	+52.6%	+0.1%
家電・通信用電子部品事業 (EMC)	402	331	405	+21.4%	△0.7%
自動車用電子部品事業 (AEC)	426	317	420	+34.3%	+1.5%
社会システム事業 (SSB)	225	207	225	+8.5%	△0.4%
健康・医療機器事業 (HCB)	291	297	300	△2.0%	△2.9%
その他	219	219	235	+0.1%	△6.8%
消去調整他	29	44	30	△33.0%	△1.8%
合計	2,979	2,324	3,000	+28.2%	△0.7%

連結営業利益(セグメント別)

➤ 主力の制御3事業(IAB・EMC・AEC)が好調に推移し、前回見通しを上回る

(億円)

セグメント別	2011/3期 2Q累計実績	2010/3期 2Q累計実績	前回見通し (2010年7月28日)	前年同期比	前回 見通し比	(参考情報) 経営指導料等改定前 2011/3期 2Q累計実績
工場自動化用制御機器事業 (IAB)	219	△3	215	-	+2.0%	236
家電・通信用電子部品事業 (EMC)	66	5	60	+1263.4%	+9.8%	72
自動車用電子部品事業 (AEC)	26	△3	20	-	+28.0%	29
社会システム事業 (SSB)	△23	△26	△30	-	-	△16
健康・医療機器事業 (HCB)	23	41	25	△43.5%	△8.0%	28
その他	△38	△38	△35	-	-	△35
消去調整他	△28	△52	△35	-	-	△70
合計	244	△77	220	-	+11.1%	244

※選択と集中を強化し、戦略的な資源配分を実行するために本社に資金を集中させる目的で、当期より子会社および事業部門との経営指導料等の改定を実施しています

連結売上高、営業利益(所在地別)

- 前年同期比で国内の売上、営業利益が大幅に回復
- 海外でも各地域で売上高が回復し、営業利益も回復

(億円)

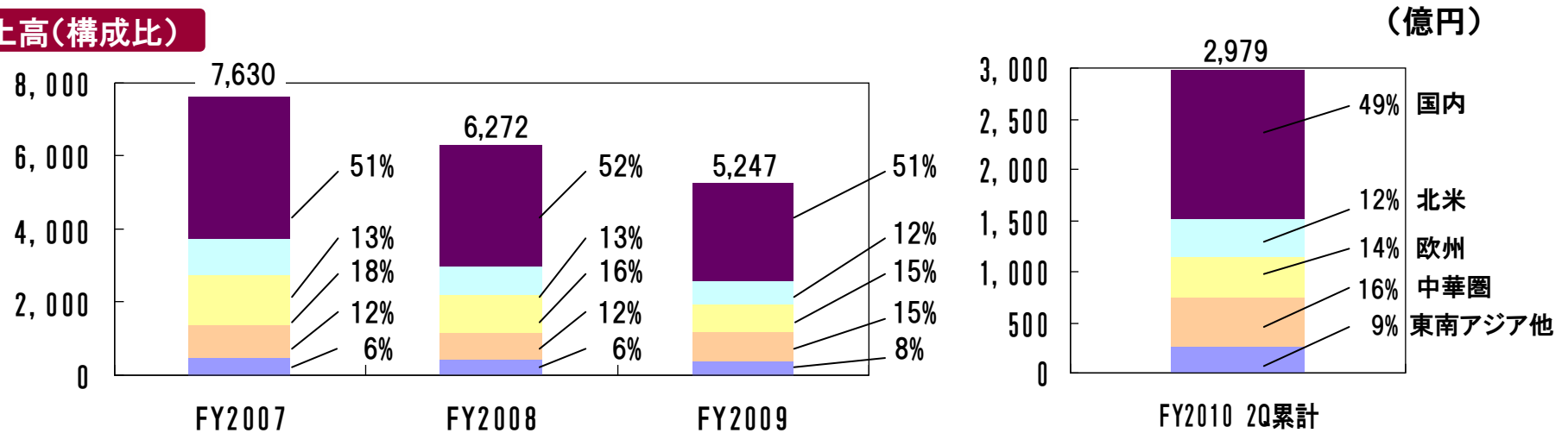
所在地別	売上高			営業利益		
	2011/3期 2Q累計実績	2010/3期 2Q累計実績	前年 同期比	2011/3期 2Q累計実績	2010/3期 2Q累計実績	前年 同期比
国内	1,465	1,152	+27.1%	140	△73	-
北米	371	279	+33.2%	13	△7	-
欧州	407	358	+13.8%	17	4	+332.8%
中華圏	486	363	+34.2%	66	28	+131.5%
東南アジア他	250	172	+44.8%	33	16	+109.7%
消去又は全社	-	-	-	△24	△45	-
合計	2,979	2,324	+28.2%	244	△77	-

※所在地別においては、直接貿易は国内に含まれます

連結売上高・営業利益推移(所在地別)

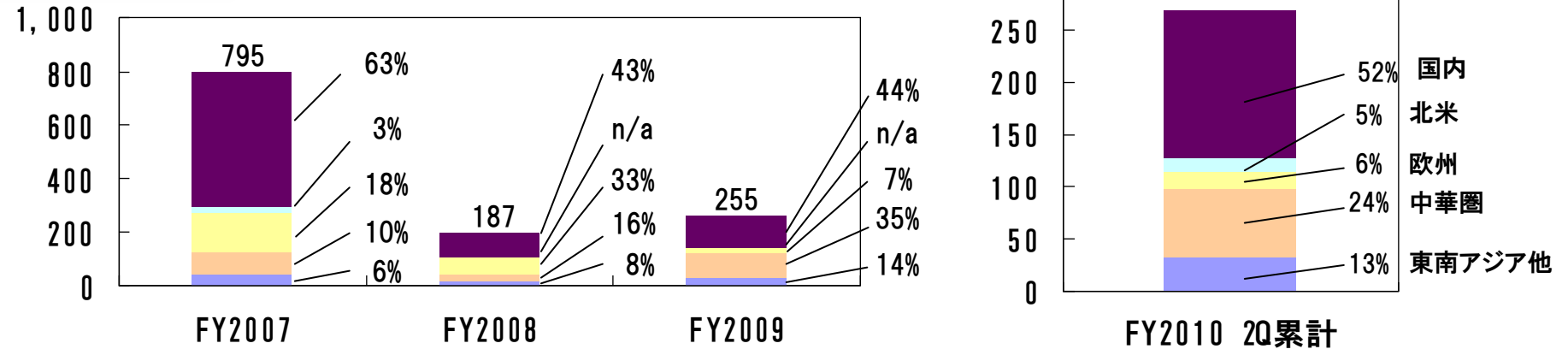
➤ 売上高は中華圏、東南アジア他が増加。利益は国内が大幅に回復。

売上高(構成比)



営業利益(構成比)

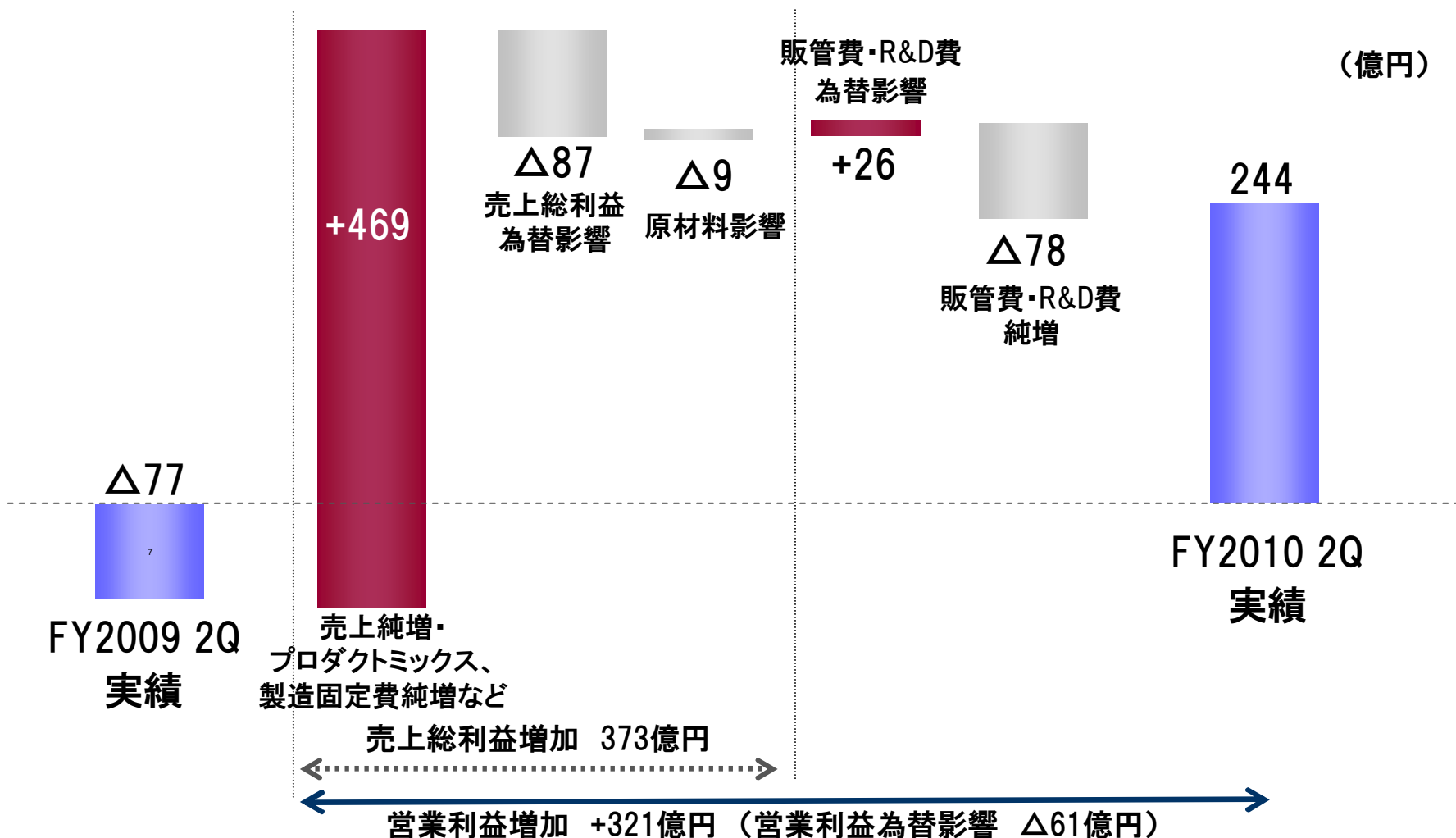
*「消去又は全社」を除く



※FY2008とFY2009の北米はマイナスのため、計算に含まない

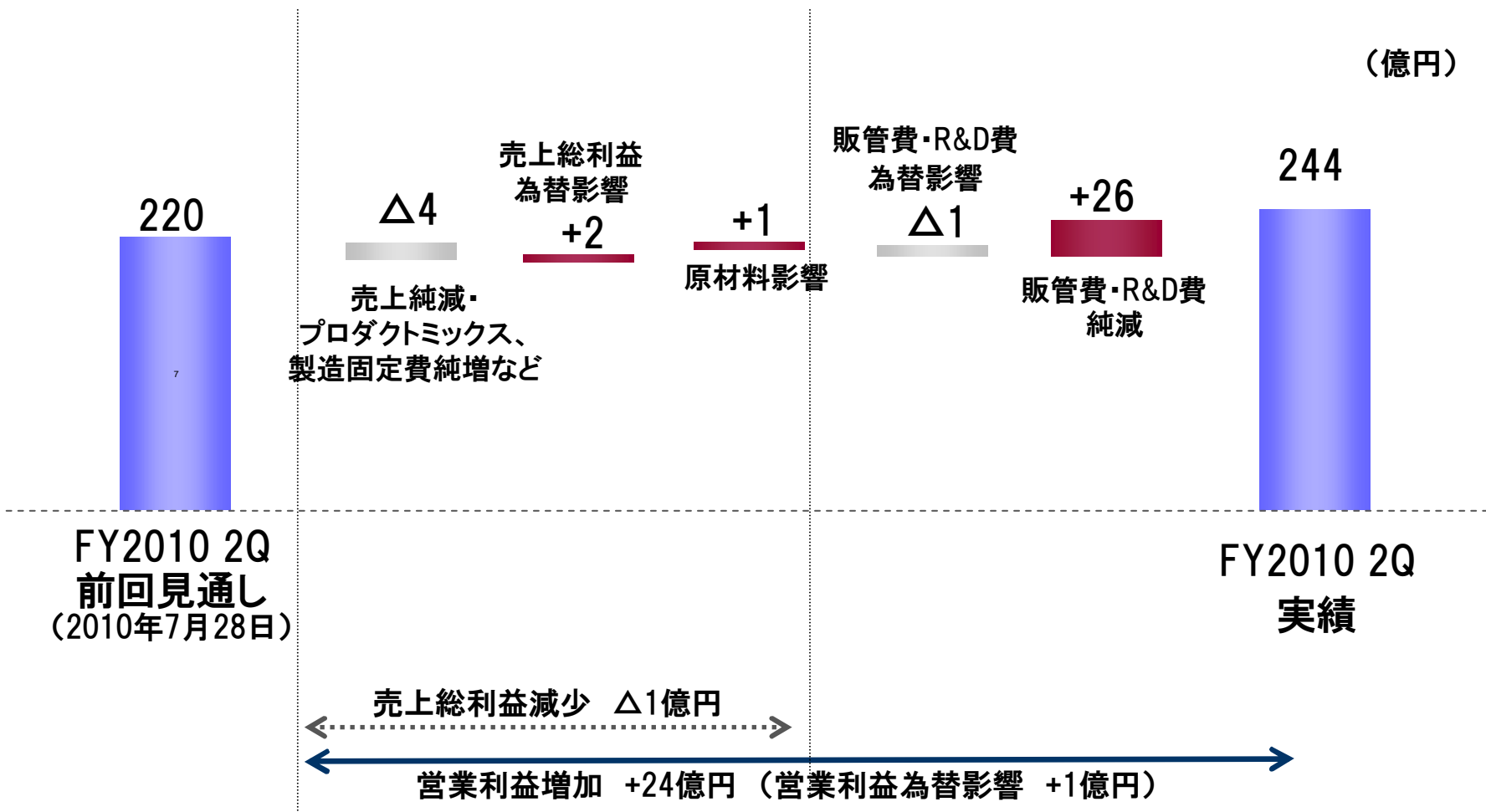
連結営業利益差異分析(前年同期比)

➤ 為替や原材料のマイナス影響はあるものの、売上増による利益増加



連結営業利益差異分析(前回見通し比)

➤ 固定費の効率的な運営により、前回見通しに比べ利益増加



工場自動化用制御機器事業(IAB)

- 国内では、電子部品・自動車・半導体業界の設備投資需要の増加が継続し、売上高は前年同期比好調に推移
- 海外では、アジアや中華圏を中心に売上高が前年同期比好調に推移
- 特に、国内の営業力の強化が奏功し大幅な売上高増を達成するなど、当社の基幹事業としての利益性を回復

IAB売上高	2011/3期 2Q累計実績	2010/3期 2Q累計実績	前回見通し (2010年7月28日)	前年同期比・差	前回 ^(億円) 見通し比・差
国内	648	393	640	+64.6%	+1.2%
海外	739	516	745	+43.4%	△0.8%
北米	128	94	120	+35.7%	+6.7%
欧州	276	241	275	+14.7%	+0.5%
アジア	126	67	125	+88.4%	+1.1%
中華圏	205	112	220	+83.7%	△6.8%
直接貿易	4	1	5	+153.5%	△27.0%
合計	1,387	909	1,385	+52.6%	+0.1%
営業利益	219	△3	215	—	+2.0%
営業利益率	15.8%	—	15.5%	—	+0.3P

セーフティコンポーネント



プログラマブルコントローラ

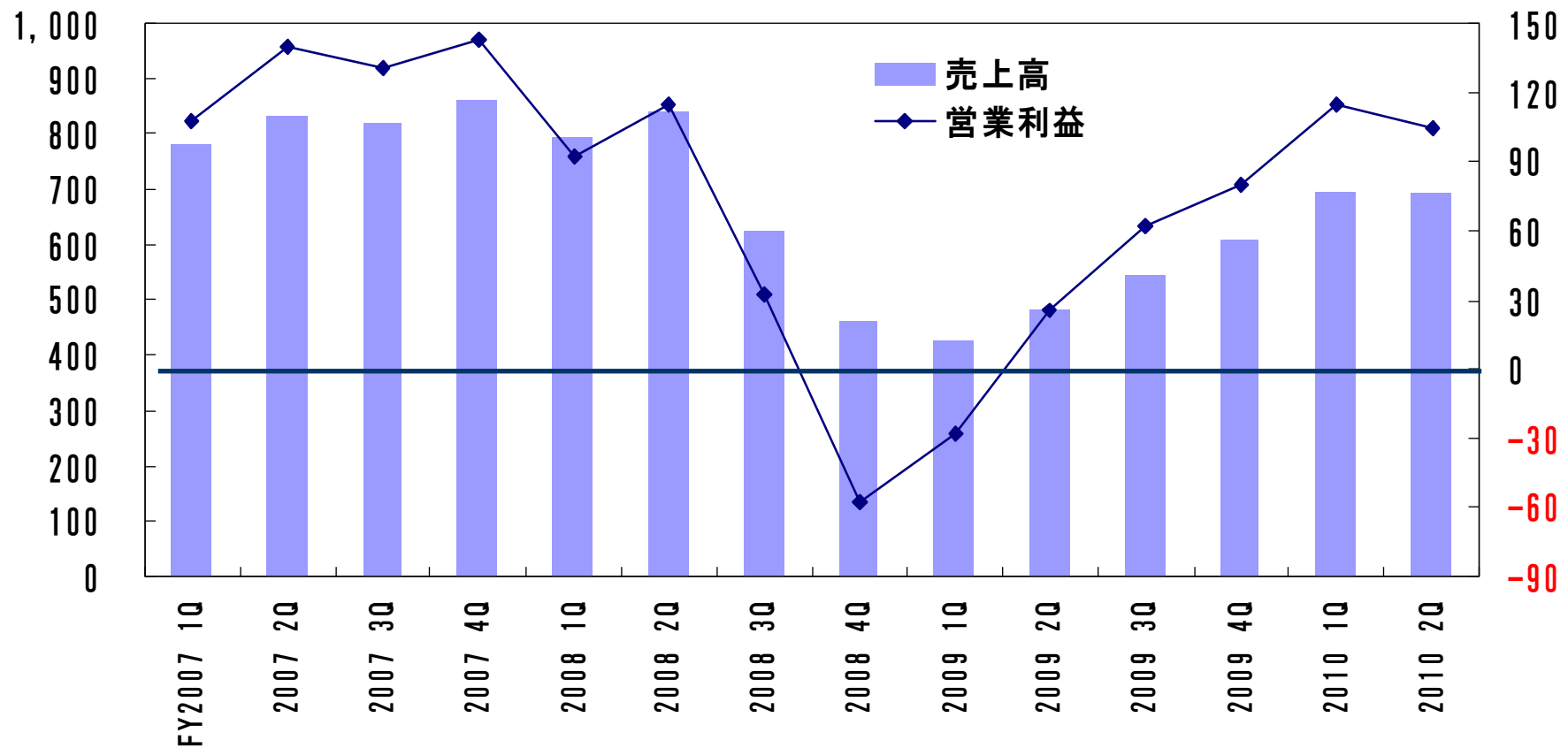


視覚センサ



工場自動化用制御機器事業(IAB) / 売上高・営業利益推移

売上高 (億円) 営業利益



※FY2007の数値は、組替による変更を行っておりません

家電・通信用電子部品事業(EMC)

- ▶ 家電向けリレーやスイッチなどの需要回復を受け、国内外ともに売上高は前年同期比堅調に推移
- ▶ 日本・欧米では車載向けリレーやスイッチなどの需要も前年同期に比べ回復
- ▶ スwitchの事業会社化をはじめ、生産体制再編を進め、利益率向上

(億円)

EMC売上高	2011/3期 2Q累計実績	2010/3期 2Q累計実績	前回見通し (2010年7月28日)	前年同期比・差	前回 見通し比・差
国内	* 119	104	115	+15.0%	+3.9%
海外	283	227	290	+24.3%	△2.6%
北米	* 69	31	65	+118.9%	+5.8%
欧州	63	56	65	+12.7%	△3.7%
アジア	44	35	45	+24.2%	△3.3%
中華圏	100	95	105	+5.3%	△5.1%
直接貿易	8	11	10	△24.7%	△19.4%
合計	402	331	405	+21.4%	△0.7%
営業利益	66	5	60	+1263.4%	+9.7%
営業利益率	16.4%	1.5%	14.8%	+14.9P	+1.6P

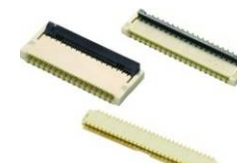
* 国内・北米のリレー事業をAECより移管



リレー

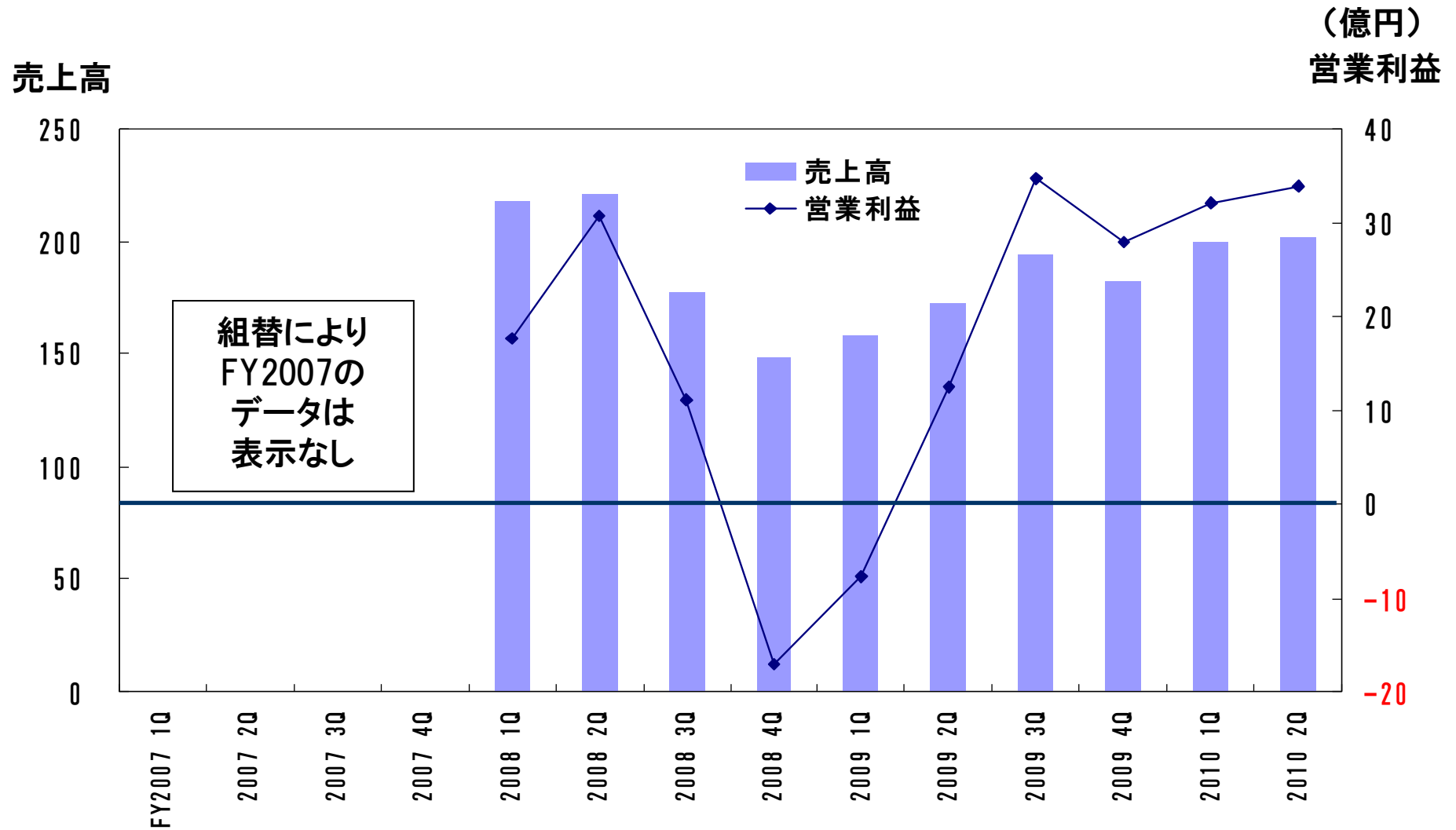


マイクロスイッチ



FPCコネクタ

家電・通信用電子部品事業(EMC) / 売上高・営業利益推移



自動車用電子部品事業(AEC)

- 国内は、エコカー減税、新車購入補助金により市場が回復基調で売上高は前年同期比大幅増
- 海外は、新興国市場での新車需要の増加などを受け、前年同期比好調に推移
- 生産体制再編と分社化により、固定費の効率運営で黒字化が定着し、前回見通しを上回る

(億円)

AEC売上高	2011/3期 2Q累計実績	2010/3期 2Q累計実績	前回見通し (2010年7月28日)	前年同期比・差	前回 見通し比・差
国内	* 147	96	140	+52.5%	+4.8%
海外	279	221	280	+26.4%	△0.2%
北米	* 124	102	120	+21.2%	+3.1%
欧州	12	9	15	+37.0%	△18.1%
アジア	69	59	70	+16.0%	△1.5%
中華圏	41	27	40	+53.4%	+2.8%
直接貿易	33	24	35	+40.3%	△4.4%
合計	426	317	420	+34.3%	+1.5%
営業利益	26	△ 3	20	—	+28.0%
営業利益率	6.0%	—	4.8%	—	+1.2P

*国内・北米のリレー事業をEMCへ移管



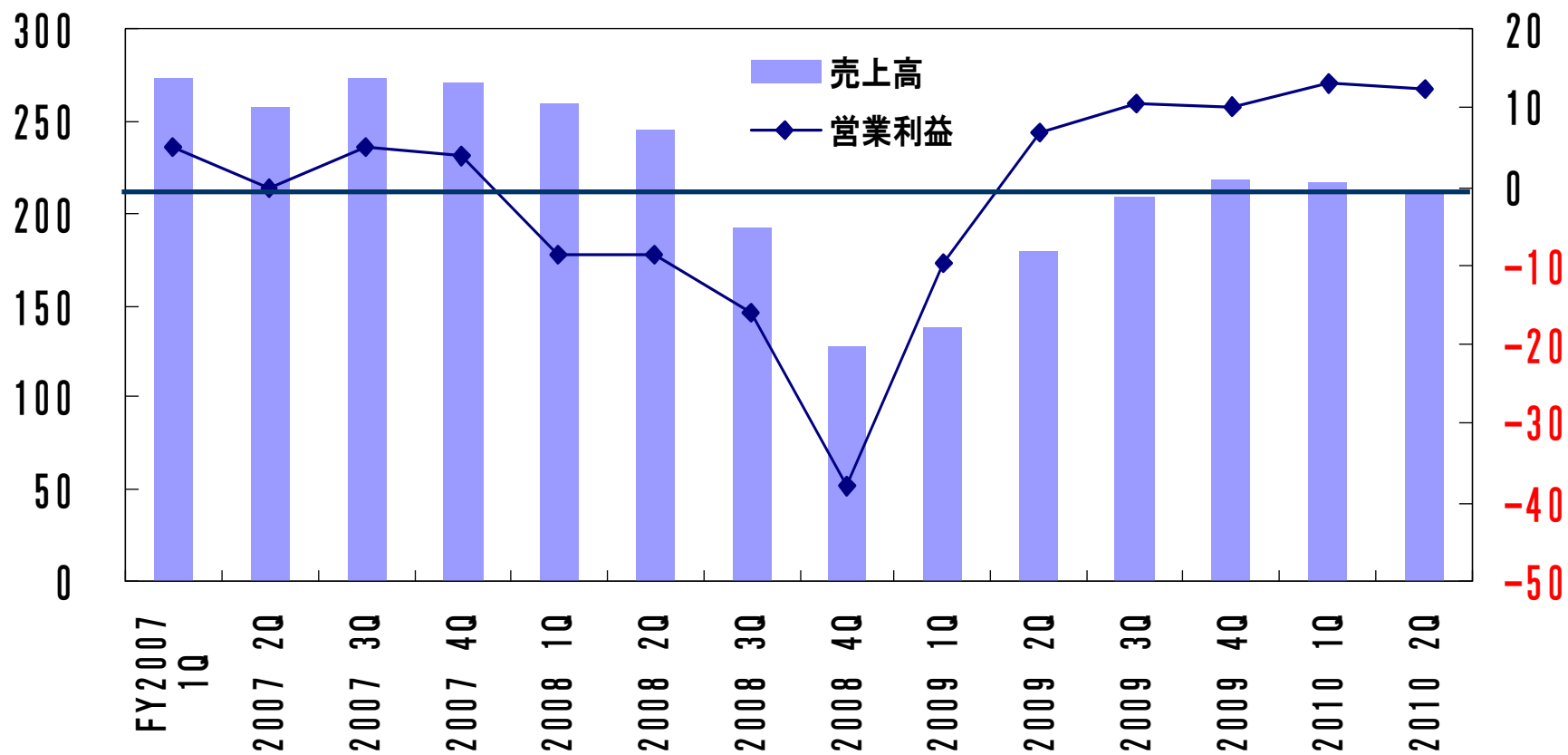
パッシブエントリーシステム



電動パワーステアリング
コントローラ

自動車用電子部品事業(AEC) / 売上高・営業利益推移

売上高 (億円) 営業利益



社会システム事業(SSB)

- 駅務システム事業は、新型機器(自動券売機・自動改札機)の市場投入により売上高は前年同期比好調に推移
- 関連メンテナンス事業は、政府の購入補助政策による太陽光発電関連商品の需要拡大等あり
- 売上は、ほぼ前回見通し通り。営業利益は、固定費の効率的な運営などにより前回見通しを上回る。

(億円)

SSB売上高	2011/3期 2Q累計実績	2010/3期 2Q累計実績	前回見通し	前年同期比・差	前回 見通し比・差
国内	223	205	220	+8.9%	+1.2%
海外	2	2	5	△25.2%	△69.0%
北米	-	-	-	-	-
欧州	-	-	-	-	-
アジア	-	-	-	-	-
中華圏	-	-	-	-	-
直接貿易	2	2	5	△25.2%	△69.0%
合計	225	207	225	+8.5%	+0.0%
営業利益	△23	△26	△30	-	-
営業利益率	-	-	-	-	-

自動改札機



交通管制システム



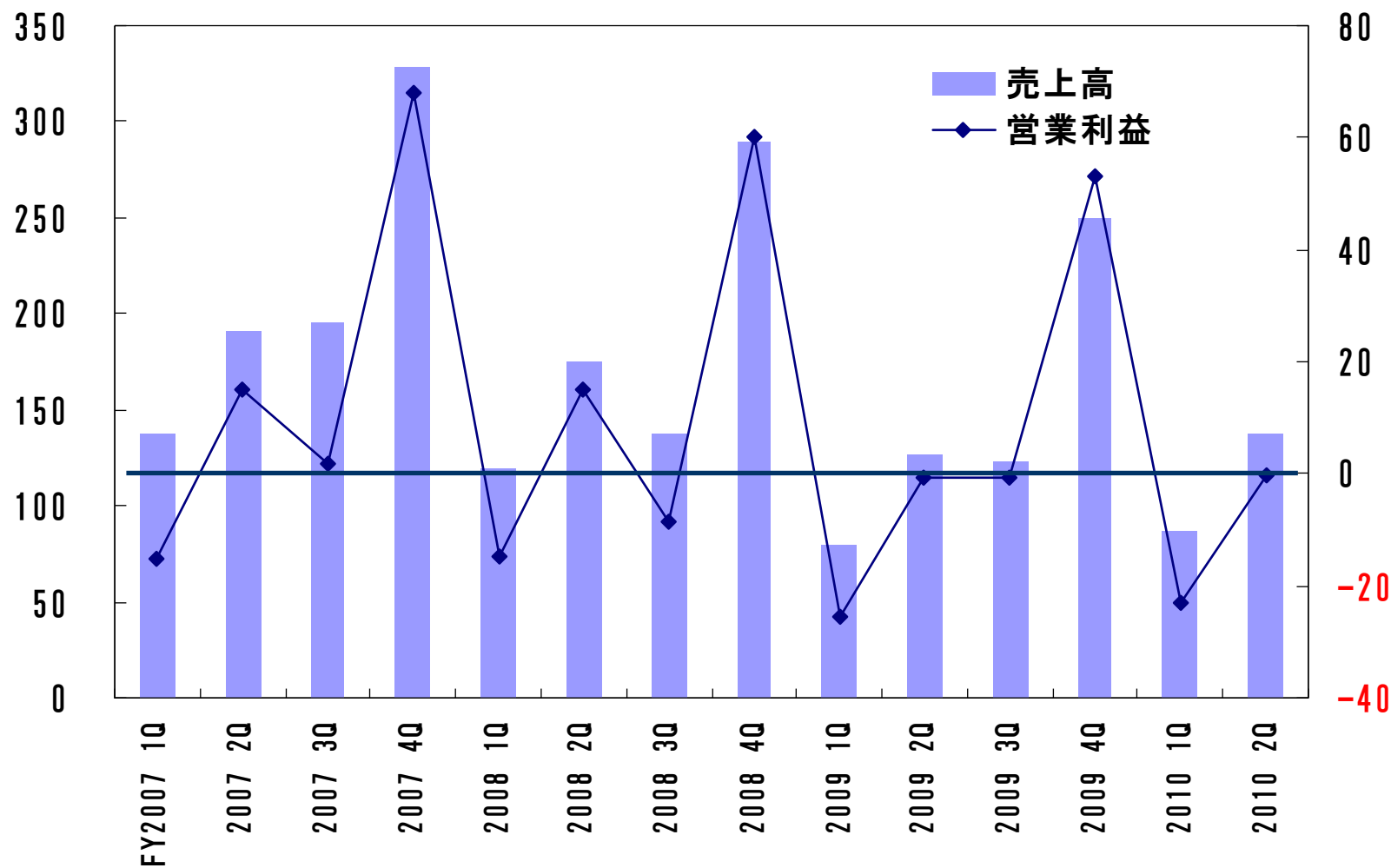
セキュリティシステム



社会システム事業(SSB) / 売上高・営業利益推移

売上高

(億円)
営業利益



健康・医療機器事業(HCB)

- ▶国内は、消費動向の低迷や夏の猛暑による店頭への来客減少等があり、新型インフルエンザによる電子体温計特需が急増した前年同期の売上を下回る
- ▶海外は、ロシアの消費回復および中国の地方都市での健康管理意識の高まりを受け、前年同期比堅調に推移
- ▶売上、営業利益ともに前回見通しを若干下回る

HCB売上高	2011/3期 2Q累計実績	2010/03期 2Q累計実績	前回見通し (2010年7月28日)	前年同期比・差	(億円)
					前回 見通し比・差
国内	127	145	135	△12.2%	△5.7%
海外	164	152	165	+7.8%	△0.6%
北米	51	51	50	△0.2%	+1.1%
欧州	56	52	55	+6.9%	+1.5%
アジア	11	11	12	+2.6%	△5.6%
中華圏	42	36	43	+18.8%	△1.4%
直接貿易	4	3	5	+48.3%	△22.6%
合計	291	297	300	△2.0%	△2.9%
営業利益	23	41	25	△43.5%	△8.0%
営業利益率	7.9%	13.7%	8.3%	△5.8P	△0.4P

デジタル自動血圧計



体重体組成計



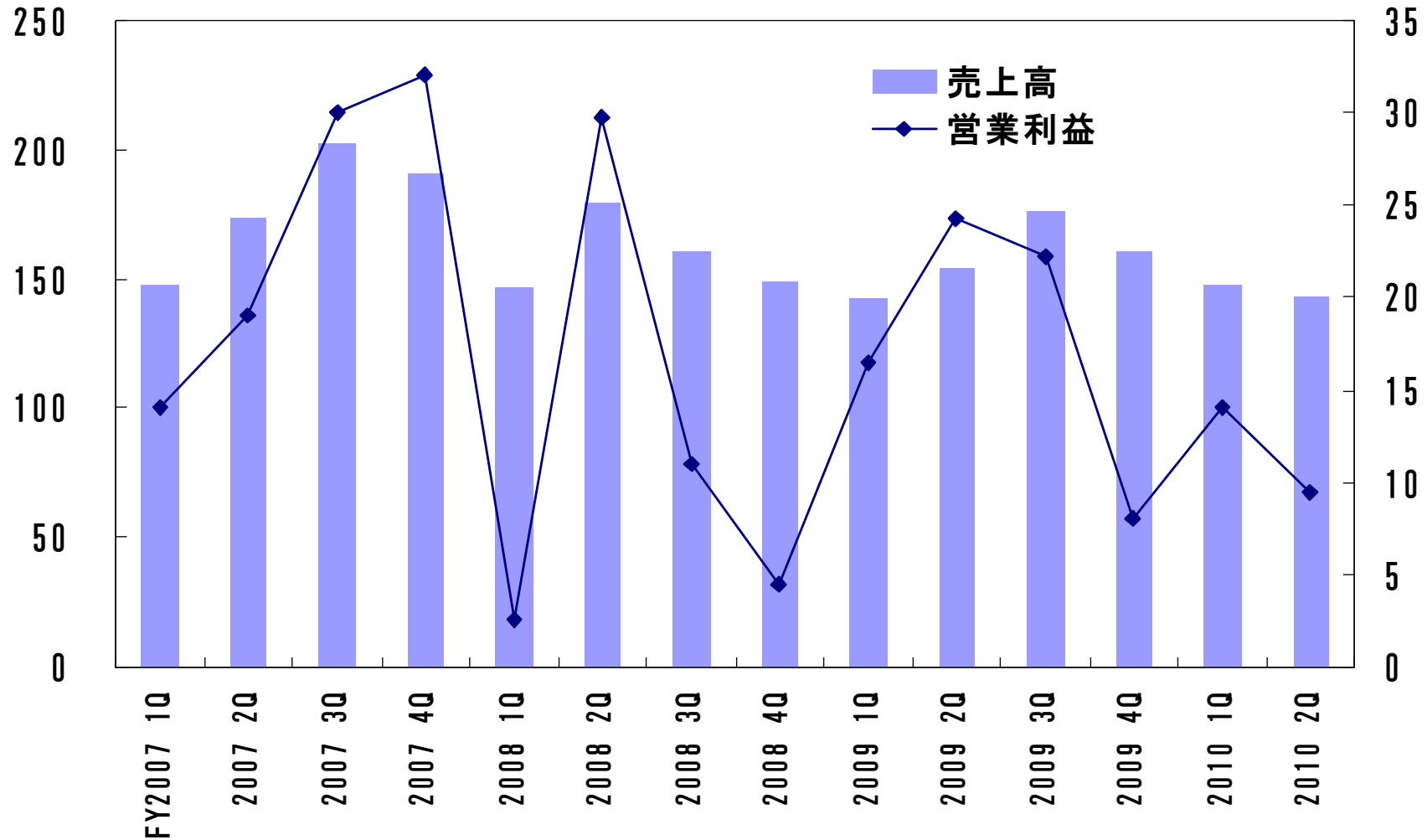
血圧脈波検査装置

健康・医療機器事業(HCB) / 売上高・営業利益推移

(億円)

売上高

営業利益



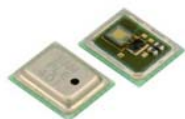
➤売上高、営業利益ともに前年同期並みに推移するが、前回見通しは若干下回る

(億円)

その他売上高	2011/3期 2Q累計実績	2010/3期 2Q累計実績	前回見通し	前年同期比・差	前回 見通し比・差
国内	116	121	115	△3.9%	+1.0%
海外	103	98	120	+5.0%	△14.3%
北米	0	0	0	-	-
欧州	0	0	0	-	-
アジア	0	0	0	-	-
中華圏	95	92	110	+3.6%	△13.3%
直接貿易	8	6	10	+26.6%	△24.3%
合計	219	219	235	+0.1%	△6.8%
営業利益	△ 38	△ 38	△ 35	-	-
営業利益率	-	-	-	-	-



小型液晶用バックライト



MEMSアコースティックセンサ



e-watching

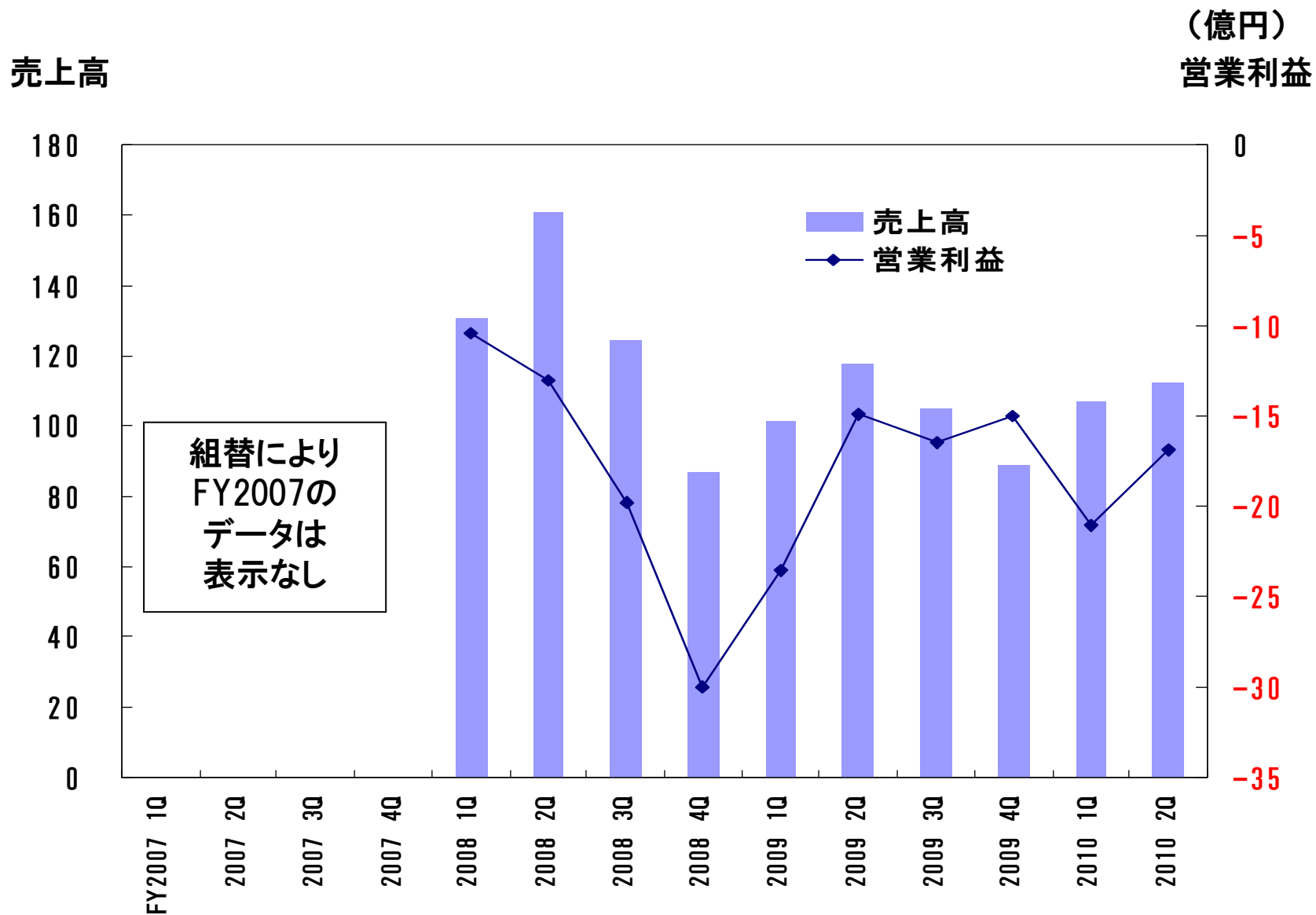


PCボード

その他事業 事業別売上高

- ▶ バックライト事業は、スマートフォン市場拡大などでの需要増はあるが、携帯電話の需要減少などにより低調に推移
- ▶ マイクロデバイス事業、環境事業、電子機器事業は前年同期比好調に推移

その他売上高	(億円)				
	2011/3期 2Q累計実績	2010/3期 2Q累計実績	前回見通し (2010年7月28日)	前年同期比	前回 見通し比
バックライト事業(OPT)	163	177	180	△7.6%	△9.3%
マイクロデバイス事業(MD)	13	9	15	+41.2%	△14.3%
小計	176	186	195	△5.2%	△9.7%
環境事業・電子機器事業	43	33	40	+29.7%	+7.6%
合計	219	219	235	+0.1%	△6.8%



連結貸借対照表

- ▶ 第2四半期累計の総資産回転率が前年同期に比べ約30%改善
- ▶ 自己資本比率は前年度末の57.5%から57.9%に増加

連結B/S	2010年9月末	2010年3月末	2009年9月末 (億円) (参考)
資産の部	5,231	5,323	5,216
現預金	546	517	497
売上債権	1,193	1,237	1,040
在庫	884	777	756
繰延税金、その他流動資産	266	327	228
固定資産	1,178	1,230	1,287
投資その他資産	1,164	1,235	1,408
負債の部	2,193	2,251	2,294
短期借入金	287	369	296
長期借入金	9	13	212
支払い手形及び買掛金等	746	689	560
退職給付引当金	637	670	767
その他負債	514	510	459
純資産の部	3,038	3,071	2,922
資本金・その他剰余金等	4,153	4,034	3,952
その他包括利益(損失)累計額	△680	△526	△600
自己株式	△445	△445	△445
非支配持分	10	8	15
負債及び純資産合計	5,231	5,323	5,216

連結キャッシュフロー計算書

▶売上増に伴う在庫の増加はあるが、当期純利益の増加によりフリーキャッシュフローは前年同期比増加

連結CF	(億円)		
	2011/3期 2Q累積実績	2010/3期 2Q累積実績	2010/3期 実績(参考)
営業活動によるキャッシュフロー	235	213	428
投資活動によるキャッシュフロー	△80	△132	△186
FCF	155	81	242
財務活動によるキャッシュフロー	△104	△55	△204
換算レート変動の影響	△22	5	13
現金及び現金同等物の増減額	29	31	51
四半期末の現金残高	546	497	517
設備投資	86	130	195
減価償却費	118	135	270

※設備投資は、連結キャッシュフロー計算書の資本的支出を適用

エグゼクティブ・サマリー	P.3
2011年3月期第2四半期決算報告	P.5
2011年3月期見通し	P.28
ご参考資料	P.34

重点施策(年間)

- 運営構造改革を加速させる
- 「強固な収益構造づくり」と「再成長へのギアチェンジ」に取り組む

外部環境

- 不透明感はあるが、下半期も上半期と同様の景況感は継続すると見込む
- 為替・原材料については直近の動向を見て、前提を変更

見通し前提

- **為替** : USD・・・82円、 EUR・・・113円
(第3四半期以降の為替レート前提)
- **原材料** : 銀・・・63,000円/kg、 銅・・・720円/kg
(第3四半期以降の原材料価格前提)

■ 為替レート1円変動による影響額

為替	売上	営業利益
USD	約20億円	約9億円
ユーロ	約7億円	約4億円

■ 銅価格100円/kgの変動による影響額

原材料	営業利益
銅	約7.5億円

■ 銀価格1,000円/kgの変動による影響額

原材料	営業利益
銀	約1億円

※上記はいずれも通期に対する影響額

工場自動化用
制御機器事業
(IAB)

➤不透明感はあるが、為替影響を除き上半期と同水準の売上を見込む

家電・通信用
電子部品事業
(EMC)

➤一部に在庫調整はあるが、為替影響を除き上半期と同水準の売上を見込む

自動車用電子
部品事業
(AEC)

➤国内のエコカー補助金終了による反動減などを見込む

社会システム
事業
(SSB)

➤前回見通し(7月28日公表)からの大きな変更は無し

健康・医療機器
事業
(HCB)

➤国内の個人消費動向の低迷などを見込む

その他

➤スマートフォン市場の拡大によりバックライト事業での売上増を見込む

2011年3月期通期業績見通し

▶ 売上高・利益ともに、前回見通しを継続

(億円)

全社PL	2011/3期 通期見通し	2010/3期 通期実績	2011/3期 通期前回見通し (2010年7月28日)	前期比・差	前回 見通し比・差
売上高	6,150	5,247	6,150	+17.2%	+0.0%
売上総利益	2,320	1,843	2,335	+25.9%	△0.6%
販管費	1,430	1,334	1,445	+7.2%	△1.0%
R&D費	430	378	430	+13.8%	+0.0%
営業利益	460	131	460	+251.8%	+0.0%
営業外費用	15	29	15	△48.3%	+0.0%
税引前純利益	445	102	445	+336.5%	+0.0%
当期純利益	295	35	295	+738.5%	+0.0%
USDレート (円)	85.6	92.9	87.0	△7.3	△ 1.4
EURレート (円)	113.8	130.3	112.1	△16.5	+1.7

通期業績の修正内容(セグメント別)

➤ 部門別に増減はあるが、全社の売上高・営業利益は、前回見通しを継続

(億円)

セグメント別	売上高		営業利益		前回見通し比	
	2011/3期 通期見通し	前回見通し	2011/3期 通期見通し	前回見通し	売上高	営業利益
IAB	2,741	2,710	410	400	+1.1%	+2.5%
EMC	790	810	110	105	△2.5%	+4.8%
AEC	811	815	30	25	△0.5%	+20.0%
SSB	661	655	20	20	+0.9%	0.0%
HCB	625	640	50	60	△2.3%	△16.7%
その他	461	460	△70	△60	+0.2%	—
消去調整他	61	60	△90	△90	+1.7%	—
合計	6,150	6,150	460	460	0.0%	0.0%

(参考) 連結営業利益への経営指導料改訂の影響

▶2011/3期よりグループ運営の見直し実施により、セグメント別利益に変動あり

セグメント別	2011/3期見通し		2010/3期 実績	(億円) (参考情報) 経営指導料等改定前	
	営業利益	前年同期比	営業利益	営業利益	前年同期比
工場自動化用制御機器事業 (IAB)	410	+195.0%	139	442	+218.0%
家電・通信用電子部品事業 (EMC)	110	+63.2%	67	122	+81.0%
自動車用電子部品事業 (AEC)	30	+73.3%	17	37	+113.7%
社会システム事業 (SSB)	20	△24.6%	27	37	+39.4%
健康・医療機器事業 (HCB)	50	△29.1%	71	60	△15.0%
その他	△ 70	—	△ 70	△ 63	—
消去調整他	△ 90	—	△ 120	△ 175	—
合計	460	+251.8%	131	460	+251.8%

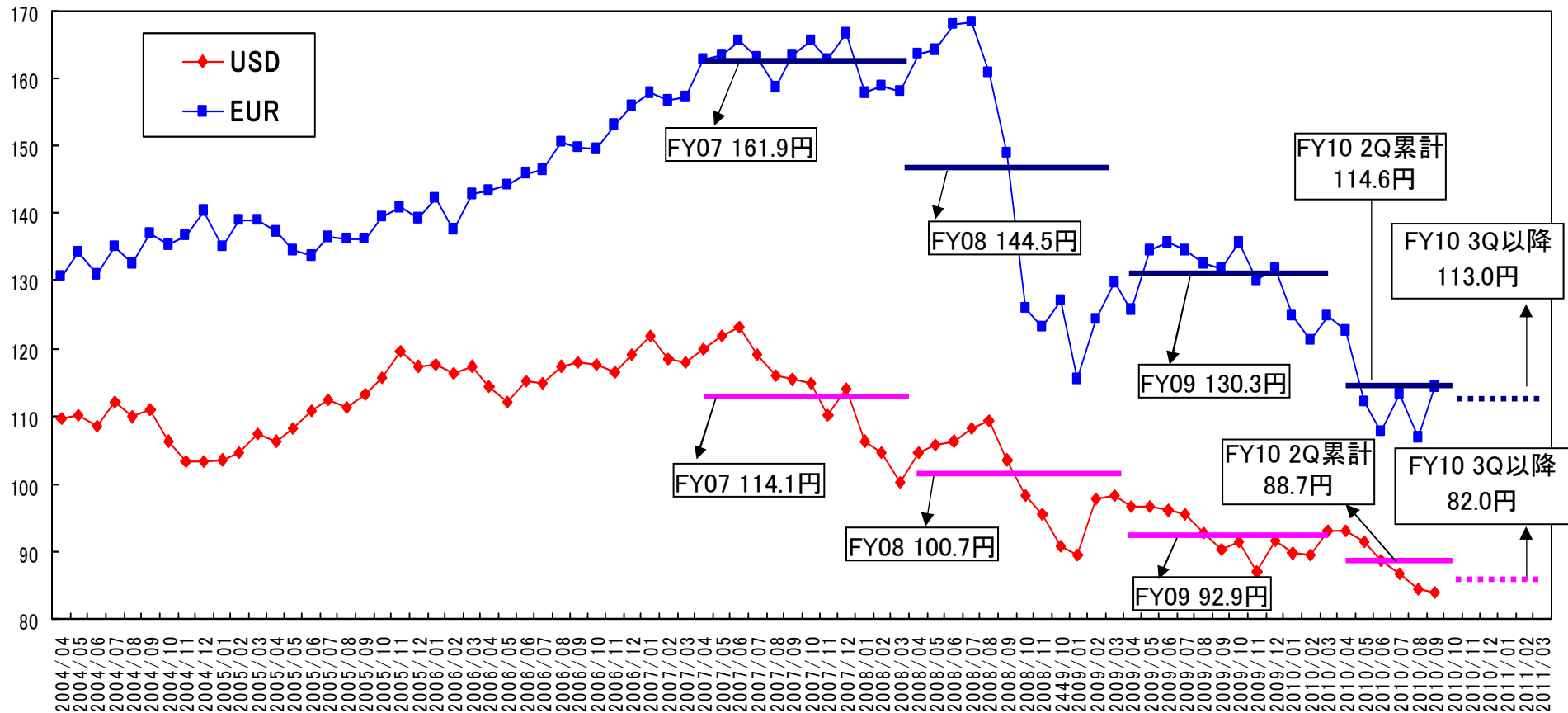
※選択と集中を強化し、戦略的な資源配分を実行するために本社に資金を集中させる目的で、当期より子会社および事業部門との経営指導料等の改定を実施しています

エグゼクティブ・サマリー	P.3
2011年3月期第2四半期決算報告	P.5
2011年3月期見通し	P.28
ご参考資料	P.34

為替レートの推移(ドル、ユーロ)

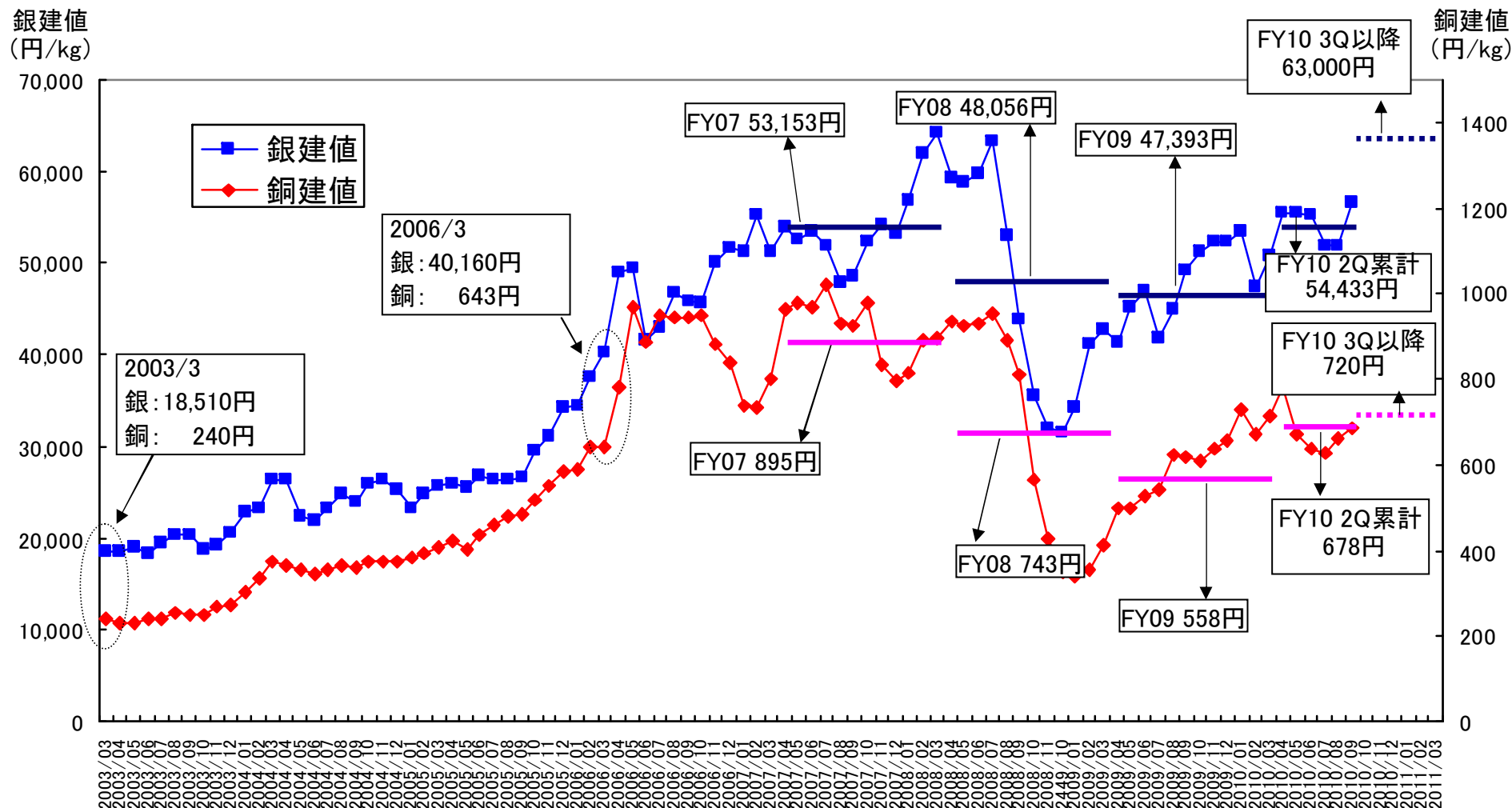
➤ドル・ユーロとも2010年度は円高で推移

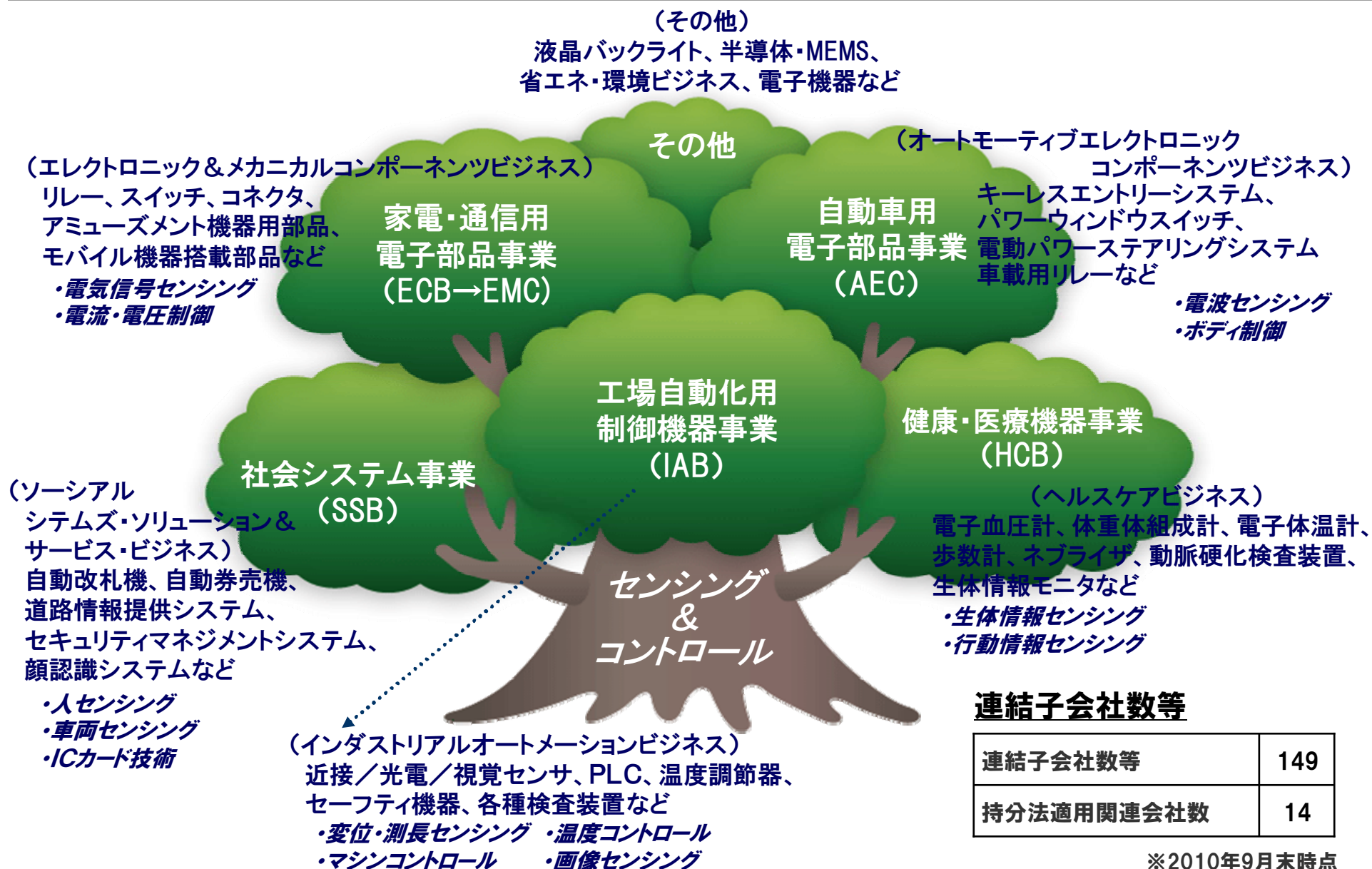
USD/EUR
(円)



原材料価格の推移

➤ 2010年度の建値は、銀・銅ともに前年度比上昇





連結子会社数等

連結子会社数等	149
持分法適用関連会社数	14

※2010年9月末時点

センシング&コントロール技術で 「安心をカタチに」



＜お問い合わせ＞

オムロン株式会社

IR企業情報室 経営IR部

電話 : 03-3436-7170

E-mail : omron_ir@omron.co.jp

HPアドレス : www.omron.co.jp